

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |  | 1-2 外観 |                         |
|----------|--|--------|-------------------------|
| 建物名称     | (仮称)東比恵4丁目オフィス 新築工事                    | 階数     | 地上10F                   |
| 建設地      | 福岡県福岡市博多区東比恵4丁目<br>42-1、42-2、43-1、43-2 | 構造     | S造                      |
| 用途地域     | 商業地域                                   | 平均居住人員 | 1,300 人                 |
| 地域区分     | 7地域                                    | 年間使用時間 | 2,750 時間/年(想定値)         |
| 建物用途     | 事務所,工場                                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価                |
| 竣工年      | 2023年9月 予定                             | 評価の実施日 | 2021年12月1日              |
| 敷地面積     | 1,026 m <sup>2</sup>                   | 作成者    | 株式会社西日本新聞ビルディング一級建築士事務所 |
| 建築面積     | 534 m <sup>2</sup>                     | 確認日    | 2021年12月1日              |
| 延床面積     | 4,857 m <sup>2</sup>                   | 確認者    | 株式会社西日本新聞ビルディング一級建築士事務所 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項   |  |  |
|--------------|--|--|
| 総合           | 緑化により周辺地域の良好な住環境へ寄与しつつ、快適な執務空間を備えたオフィスビル計画となっている。                    | その他<br>特になし                                    |
| Q1 室内環境      | 窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な執務空間とした。<br>使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。      | Q3 室外環境(敷地内)<br>外部緑化を積極的に採用し、景観形成に配慮した計画としている。 |
| LR1 エネルギー    | 断熱性能を高めるよう、外壁裏面に断熱材を設けた。<br>照明は全てLEDを採用し、消費電力を抑える計画とした。              | LR3 敷地外環境<br>敷地外にゴミが散乱しないように、ゴミ置場を建物内に設けた。     |
| Q2 サービス性能    | 階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。  |  |
| LR2 資源・マテリアル | 鉄骨材料ができる限り少なくなるような構造とした。<br>OAフロアの採用等、解体時のリサイクルに配慮。<br>F☆☆☆☆建材を採用する。 |  |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される